

「第4回大分市子ども・子育て会議」で出された主な意見

- 1 日 時 平成26年2月27日(木) 13:40～15:50
- 2 場 所 大分市議会棟4階 全員協議会室
- 3 参加者 委員17名参加（欠席委員2名）

4 委員からの主な意見と事務局回答

【議事（1）前回の各委員からの質問や意見について】

- 特に意見なし

【議事（2）「（仮称）すくすく大分っ子プラン」の概要（案）の変更点について】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○基本理念Ⅲ「継続的に点検・評価し、見直していく」のところで、言葉の問題であるが、「継続的に点検・評価しつつ、改善に努める」はどうか。改善は「悪いところを改めてよくする」という意味合いがあり、より意図が明確になるのではないか。</p> <p>○基本理念Ⅱ「支え合う」と「支援する」のところで、「支援」は「支え助け合う」ということで、同じ意味ではないか。つまり、「支える」、「支え合う」という言葉がなくてもいいのではないか。同じ意味を2度言う必要があるのか。</p> <p>○代案として「支援する」でなく、「成長することを目指す」などの表現はどうか。</p> <p>○原案は変えずにという認識だったから、「支え合う」の表現にこだわったものである。</p> <p>○理念Ⅰの文末が、最善の利益を「目指す」だから、Ⅱも「成長することを目指す」などがいいかと。いかがでしょうか。</p> <p>○共に成長することを「支え合う」という表現のほうが、現在の保護者にもわかりやすいのではないか。会長の言われたとおり、文末を変更して「支え合う」と表現したほうがよい。</p> <p>○理念Ⅲを、継続的に点検・評価「しつつ」に変更すると、理念Ⅱにも「しつつ」があり、変更してはどうかと思う。</p> <p>○では、理念Ⅲを「継続的に点検・評価し、改善に努める」でいいかと考える。</p> <p>○理念Ⅰ「良質かつ適切な教育・保育・子育て支援を総合的に提供すること」は、幼保連携型認定こども園の趣旨にある文言と混同するイメージがあるが、どうか。</p> <p>○では、教育・保育の並びを保育・教育に変更するなどの対応はどうか。</p>	<p>・手法としても PDCA サイクルで改善していくという意味合いでよい。</p>

<p>○この変更箇所については、私が提案したところなので、説明させていただきたい。この文言は、認定こども園として使っているわけではなく、日本全国の幼児教育施設がこの文言にある内容を目指していくものであるという意味がある。国の方針を踏まえつつ、大分市独自のプランをとということで、この文言を付け加えたところである。その意味合いを考えてもらえたらと思う。</p> <p>○認定こども園では教育・保育を「一体的に」という表現をしているが、ここでは、幅広く「総合的に」教育・保育・子育て支援を提供するというところで、提案どおりでよいのではと考える。</p> <p>* 全員 了承</p>	
---	--

【議事（３）国の動向・第３回までの会議の進捗状況について】（資料１，２，３）

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○新制度に向けた「国の財源」で、4,000億円足りないという情報であったが、量の確保と、質の改善（人員の確保、給与の改善）は、車の両輪と捉えているが、量の確保が優先され、最終的に質の確保に向けた財源がおいついていなくなるのではと予想されるが、大分市の予算措置に対する考えはどうか。</p> <p>○国では、保育士の研修の確保、また研修に参加している間の代替保育士の確保等も考慮しており、大分市でも考えてもらいたい。</p> <p>○予算措置されることが大前提である。本日示されたプランの概要も、大分市が市民に対する公約と受け止め、委員の総意を得て策定していく必要がある。</p>	<p>・質の確保も市民の願いであると認識している。国においても、保育の質の確保のための費用を含めた公定価格を検討していると考えている。本市においても、定員拡大だけでなく、保育士の確保等、質の確保も重要であると認識している。</p>

【議事（４）「（仮称）すくすく大分っ子プラン」事業計画（案）について】

委員からの質問・意見	事務局回答
<p>○ニーズ調査の結果を指標とすることは一般的なことか。あまり見ないようにある。</p>	<p>・大分県や内閣府等では、満足度や認知度を指標に設定しており、一般的であると認識している。</p>

○内閣府は、自分で事業を持っていないので、アンケートをとるしかない。大分市の場合は、事業体なので、実際の施策そのものを指標にできるのではないかと。例えば、妊婦健康診査の推進事業では、数値として示されるわけだから、それが事業のアウトカムとして示されるべきである。

これが、満足度等になると、対象の母数もかわりおかしくなるのではないかと。市は事業に取り組んでいるわけだから、受診率や利用している人の変化の割合など、きちんとした指標が出せるのではないかと。

○事業シートの構成の面で、施策の指標とその目標値がきて、平成25年度のアンケート結果が今、実績値となっているので、これは、右端にもっていき、参考値という感じで掲載してはどうか。配置の仕方で違ってくるのではと考える。

○4つの事業を総合的に見るということは、どれも見ていないことと同じである。通常は、4つそれぞれの指標を設けるか、4つのうち重点事業として1つをピックアップし、その指標を設けるかである。実態のある指標を使用すべきだ。

○実際の調査では、子育て支援課でなく、保健所があるのではないかと。今、会長が言われている数値等はわかるはずだ。

○子ども・子育ては、子育て支援課だけでなく、保健所、保健師、保育士、教員、地域の民生委員やここにいるメンバーが一緒になって取り組むもの。そこにかかわる人が持っている具体的な実態のある数値を出し、相互的に評価していくことで全市的な取組となると考える。

・事業の指標としては、実際に取り組んでいるものを指標にあげていく。ただ、基本施策全体の指標となれば、どうしたらいいのか。4つの事業をまとめた基本施策の指標としては、どうしてもファジーなものとなる。

・具体的なものはわかりますので、それらを指標にということであれば、次回までに提示したい。

○資料4①A-2「乳幼児期における教育・保育の提供」について、具体については5回目以降で出されるものかと思うが、これまで話題に上っていないが保護者として気になる点がある幼稚園や保育所等の施設には、定員に満たないところがある。それは原因として、預かり時間が短かったり、預けたい曜日に休みだったり等の理由が考えられ、なぜ定員に満たないのか、一つ一つ原因を探り、それらの課題を整理し、施設に対する指導等を行うなどの内容を、記載していただきたい。

○定員割れする要因として、地域という要因と施設の要因が考えられる。地域はしょうがないが、施設の要因は指導により改善が見られるものであり、質の確保という面でも重要である。A-1 待機児童の解消においても0を目指すのであれば、その定義を示すべきだと考える。

○資料5 ページ「一時預かり事業」について、現時点でどのような事業なのか説明できる範囲で説明していただきたい。

○新制度に向けては、幼稚園、保育所等に関し、このシートの4,5 ページの内容が重要であるので、じっくり検討していただきたい。

○利用者側からの視点で、新制度について不安が多い。例えば、4時間利用の子どもと8時間利用の子どもとで、保育の質に差があるのではないかと、4時間利用者が8時間利用できたりするのであろうか、など考えてしまう。

○定員は、短時間、長時間で定めるか。

・地域の特性により、佐賀関、野津原、大南等定員に満たない状況がある。ただそれだけでなく、定員に満たない原因を精査する必要があると考える。

・現行では、急な仕事や病気など一時的に保育が困難な場合や、保護者のリフレッシュ目的に実施している。新制度では、幼稚園等にも受け入れていただき、さらには、実施できる施設が、バランスよく配置されることも重要であると考えます。

・今、国で議論されているのが、長時間保育と短時間保育で、短時間保育は、原則8時間、さらに長時間では、最大で11時間を考えているようである。

・定めない。就労状況で、長時間から短時間へ移る場合も考えられる。

○施策の指標の実績値に、4時間、8時間の利用者がどれくらいいるか。それに対し、どれくらいのサービスが提供できたか。（人の配置、補助等）もう一点は、利用者に対し、どれくらい周知できたか。たとえば、保育園にどれくらいいったか、HPに何回掲載したか等、実際にどれくらい動いたかということが指標になりうるかと思う。

○児童育成クラブに関し、学校では特別支援学級と通常の学級を分けて運営していると思うが、児童育成クラブでは、同じ場で運営しているが、そこらあたりの考え方はどうか。

○質問は、子育て支援課でなく、教育的な立場からどうかという点を伺いたい。

○現場にいる先生や指導員が、在籍する子どものためにどのように連携を図っていくか。現状は、小学校に在籍している児童を対象に受け入れている。それゆえ在籍している子どもの校長、特別支援学級の先生等がもっと関わっていただければと思うが、特別な支援を必要とする子どもへの対応ができる指導員がなかなかいないのが現状である。かかわる部署が連携を図り、放課後の生活にも責任を持つ仕組みを本事業で、施設面等の充実だけでなく盛り込んでもらいたい。

○学校に在籍している子どもだけを受け入れ対象にしていることはよいことか。

○学校の先生が、放課後児童育成クラブで過ごす子どもたちの顔と名前がわかるということは、私はよいことと捉えている。

・特別支援学級在籍の児童に関しては、平成26年度からは小学校6年までは預かるようにしている。さらに優先して預かるようにしている。また、個別の部屋の確保は困難であるが、加配の指導員を配置している。

・学校においては、特別支援学級で過ごす時間と、交流学級で過ごす時間がある。このような中では、支援を必要とする子どもを受け入れる学級の集団作りが必要となる。こうしたことから、放課後児童育成クラブにおいても、そこで支援を必要とする子どもがどのように過ごしているのか実態等をつかみ、クラブにおける他の子どもとのかかわり等についても指導員と連携を図っていく必要があるのではと認識している。

○大分市で特によく聞くのが「小1の壁」で、子どもさんが小学校に上がったから、正規の仕事を辞めざるを得ないという声をよく聞く。ぜひこの小1の壁を打ち破っていただくよう、このプランで位置づけてもらいたい。児童育成クラブの指標があるが、この中には、辞めてしまった保護者の思いは反映されていない。ぜひ、小1の壁を打ち破るよう、このプランで位置づけてもらいたい。

○地域子ども・子育て支援事業の一つに加えてもらいたい点で、2月20日の新聞に、静岡県で事業所内託児設置の記事があった。銀行、鉄道、ガスの3者は共同で、定員30名の託児所を設置。国も5年間の補助を行うと聞いている。大分でも、ホルトホール大分内、アイネス等にも託児施設があるが、曜日や時間帯が限られている。より充実させていくためにも、事業所内保育を作りたいと希望する事業所をつないで、ひとつの施設を作るなどの取り組みを盛り込んでもらいたい。

○今の話を聞き、このプランでは、できることだけ盛り込むのではなく、企業や市内にある県の施設も含め、今あるものを総合的に盛り込むことができるのではないか。お金を使って新たに作るのではなく、今あるものを掘り起こしすれば、いろいろなことが可能になるかもしれない。そういった知恵を出し合い、プランに盛り込むことが大切だ。

○今の大分市の就労時間の定義についてどうなっているか。

○いつごろ明らかになるか。

・私どもも「小1の壁」は課題と考えている。本市では、運営委員会方式をとっているが、全国的には、民間や直営方式をとっているところもある。待機児童の問題から継続して児童育成クラブの問題も考えていくことは、重要なことであると考え。そのため、積極的に取り組んでいく必要があるものと認識している。

・現状の「保育に欠ける」の要件は、週4日以上、昼間4時間以上勤務。それを月単位では、64時間となる。「保育の必要性」については、今後示すことになる。
・未定である。

<p>○そうしたのも盛り込み、本プランが、総合的な戦略として位置づけられたらよいのではないか。</p> <p>○地域型保育給付の件が、本プランにあまり盛り込まれていない。</p> <p>○このプランの概要で色がついている事業については、国からの補助があるのか。また、地域子ども・子育て支援事業については、事業ごとに補助があるのか。13事業全体としての補助となるのか。</p> <p>○包括であれば、市の実態に応じて、よりメリハリのある運営を考えてもらいたい。</p> <p>○指標に関しては、事業ごとに、事業の成果として見えるものを数値で見せてほしい。</p> <p>○いろいろな機関をまきこんで、総合的に本プランを作成していく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの、事業所内保育の件であるが、大分市では、病院がおよそ10箇所程度ある。事業所内保育は、地域型保育給付を受けられる事業である。そうしたところも活用しながら、相談に来た事業者等もすでにいるのでつないでいきたい。 ・子ども・子育て支援事業計画にかかわるものについては、国からの補助がある。 ・国からの補助については、包括交付金として与えることが予想される。 ・児童育成クラブの実態も、待機児童と解消とあわせ、充実強化していきたい。
---	--

【その他：本プランの名称について】

委員からの質問・意見	事務局から
<p>○前回までの次世代の「すこやかプラン」とかぶるイメージがありどうかと考えたが、皆さんがこれでよいということであればいい。</p> <p>○すくすくジャパンは、オールジャパン、すくすく大分っ子は、「子ども」だけが対象というイメージである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原案の「すくすく大分っ子プラン」の名称については、委員さんの意見から原案通りでと考えているがどうであるか。 ・国の「すくすくジャパン」も考慮している。 ・名称に関しては、会長、副会長に御一任いただくということでお願いしたい。（了承）